

牛久市教育委員会 1月定例会会議録

1. 日 時 平成29年1月23日(月)午後1時15分
2. 場 所 市役所本庁舎 第3会議室
3. 出席委員 染谷 郁夫・石井 美知夫・後藤 雅宣・芦田 亜里香・五十嵐 登喜子
4. 委員以外  
の出席者 次長 飯野 喜行  
次長 杉本 和也  
教育総務課 課長 川真田 英行  
教育総務課 学校建設対策監 佐藤 孝司  
指導課 課長 村松 美一  
放課後対策課 課長 吉田 茂男  
生涯学習推進室 室長 横瀬 幸子  
中央図書館 館長 関 達彦  
スポーツ推進課 課長 齋藤 勇  
教育総務課 課長補佐 富田 真幸  
教育総務課 課長補佐 戸塚 美幸  
教育総務課 課長補佐 森田 明  
教育総務課 課長補佐 高野 裕行  
指導課 課長補佐 山口 明  
指導課 指導主事 原 成彦  
文化芸術課 課長補佐 永沼 智子  
スポーツ推進課 課長補佐 高橋 頼輝
5. 欠席者 教育部長 川井 聡  
文化芸術課 課長 手賀 幸雄  
生涯学習推進室 室長補佐 山越 義弘  
スポーツ推進課 課長補佐 飯島 美博
6. 会議録署名人 芦田 亜里香
7. 議 題 議案第1号 奥野小学校における学校運営協議会設置校の指定について  
議案第2号 牛久第二中学校における学校運営協議会設置校の指定について  
議案第3号 奥野小学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について  
議案第4号 牛久第二中学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について  
議案第5号 牛久市小川芋銭検定委員会設置要綱を廃止する訓令について  
議案第6号 牛久市小川芋銭検定実施要綱を廃止する告示について
8. 報告事項 報告第1号 牛久市教育支援委員会答申について

教育長	<p style="text-align: center;">(あ い さ つ)</p> <p>開会を宣言する。</p> <p>会議録署名人 芦田 亜里香 委員を指名する。</p>
教育長	<p>それでは、議案第1号「奥野小学校における学校運営協議会設置校の指定について」、議案第2号「牛久第二中学校における学校運営協議会設置校の指定について」、議案第3号「奥野小学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について」及び議案第4号「牛久第二中学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について」は、関連する議案ですので事務局より一括して説明をお願いします。</p>
放課後対策課長	<p>議案第1号から議案第4号は関連がありますのであわせてご説明させていただきます。</p> <p>まず、議案第1号及び議案第2号は、奥野小学校及び牛久第二中学校における学校運営協議会設置校の指定についてでありまして、牛久市立学校における学校運営協議会に関する規則第3条第1項の規定に基づきまして協議会を設置する学校として指定するものであります。なお、指定の期間は同規則第3条第3項の規定によりまして2年となっておりますが、平成29年3月1日より平成31年2月28日までとなります。また、両校の指定に当たり規則による明文化はありませんが、学校長名で指定について申請書の提出をいただいておりますので、参考資料として添付させていただきます。</p> <p>続きまして、議案第3号及び議案第4号は、奥野小学校及び牛久第二中学校における学校運営協議会設置の指定に伴う委員の任命または委嘱についてでありまして、牛久市立学校における学校運営協議会に関する規則第4条第1項の規定に基づきまして任命または委嘱するものであります。委員の選任につきましては、同規則第4条第2項の規定により学校長より推薦をいただいております。コミュニティスクール推進委員会の委員の方々を中心に有識者3名、設置校の教職員2名、地域代表8名、保護者3名、その他地域学校コーディネーター1名の計17名を任命または委嘱するものであり、その任期は平成29年3月1日から平成30年2月28日までの1年となります。なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5第1項の規定によりまして、学校運営協議会は各学校ごとに設置することになることから、奥野小学校、牛久第二中学校、それぞれに委員を任命・委嘱することとなりますが、実際の運営につきましては奥野キャンパスとして合同での運営を想定しており、各委員には両校の委員を兼務していただくようになっております。</p> <p>以上、議案第1号から第4号までの4件につきまして委員会の同意を求めるものであります。よろしくお願いたします。</p>

教育長	事務局の説明が終わりました。質問等ありましたらお願いします。
教育長	それでは、私の方から一つ質問をさせていただきます。任期が3月1日スタートというのは、どういう意味なのでしょう。
放課後対策課長	当初、コミュニティスクール推進委員会の議論では4月からのスタートを想定しておりましたが、来年度の学校運営に関する方針を協議する場合に4月からのスタートでは遅いのではないかと、3月中に協議をし、そしてそれをみんなで合意した上で4月からスタートをすべきだろうということで、学校運営協議会は3月1日をもってスタートすることとしております。以上でございます。
教育長	私の方からもう一つ質問をさせていただきます。 奥野小学校と牛久第二中学校で学校運営協議会が3月からスタートしてコミュニティスクールという形をとるわけですが、今後、他の学校の学校運営協議会の設置計画を教えてください。
放課後対策課長	事務局といたしましては平成31年度末ぐらいまでに市内全13校にコミュニティスクールを導入できればと考えております。そういった中で、来年におきましては市内8校の小中学校につきましてコミュニティスクールを導入するための準備委員会の予算化等をしております。
石井職務代理者	今回のこの奥野小学校と牛久第二中学校については、これがひな形となって今後の運営にかかわってくるかと思うんですが、ここの経過といったものを次の他の学校にどのような形で反映させていくのか考えを教えてください。
放課後対策課長	コミュニティスクール導入に関しては、奥野小学校と牛久第二中学校が市内では初めての試みということで2年かけて準備をしてきたわけですが、ほかの学校におきましては逆に奥野小と二中の例が参考事例となりますので、それを参考にしながら各地域の学校にあったコミュニティスクールはどうあるべきかということを議論して発展していきたいと思っております。
教育長	それでは、議案第1号「奥野小学校における学校運営協議会設置校の指定について」、議案第2号「牛久第二中学校における学校運営協議会設置校の指定に

	<p>ついて」、議案第3号「奥野小学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について」及び議案第4号「牛久第二中学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について」、賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>議案第1号から議案第4号について出席者全員の賛成を得る。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、議案第5号「牛久市小川芋銭検定委員会設置要綱を廃止する訓令について」及び 議案第6号「牛久市小川芋銭検定実施要綱を廃止する告示について」、関連する案件ですので一括して事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>文化芸術課課長 補佐</p>	<p>それでは、関連する議案でございますので続けてご説明いたします。</p> <p>議案第5号「牛久市小川芋銭検定委員会設置要綱を廃止する訓令について」、及び議案第6号「牛久市小川芋銭検定実施要綱を廃止する告示について」ご説明いたします。</p> <p>平成20年度より26年度にかけて計9回開催されました小川芋銭検定につきまして、来年度より牛久郷土検定に移行するに当たり、検定及び小川芋銭検定委員会を廃止するものでございます。小川芋銭検定は、牛久市ゆかりの日本画家小川芋銭について深く知ることによって郷土に関心を持ってもらうことを目的に開催された検定でございます。これまで一般向けには平成20年度より26年度まで9回実施しておりまして、受験者は延べ314名でございます。また、牛久三中編を26年度から27年度まで2回開催しておりまして、三中の1年生全員が受験しております。しかし、一般用は受験者数が伸び悩んでおりまして、第2回の55名から第9回には27名と半減しておりました。そのため今後小川芋銭検定事業は、かっぱの里ギャラリーでの市所蔵品の公開を中心に展開いたしまして、検定事業は平成25年度開始の中学2年生を対象とした県教育委員会のいばらきっ子郷土検定事業と連動し、受験対象を市内小中学生に限定いたしまして出題範囲も小川芋銭に限定するのではなく、広く牛久市全体の歴史、文化、産業などを対象といたしました牛久郷土検定に発展させるために小川芋銭検定関連の要綱を廃止するものでございます。今後は、一般用向けには開催をせず市内の小中学生を対象に事業を行うものですので、牛久郷土検定については実行委員会等の組織化は行わない方向でございます。以上でございます。</p>
<p>石井職務代理者</p>	<p>芋銭検定については受験者数が減っているから、無くなるということについては説明のほうで理解できましたが、この後のいばらきっ子郷土検定について</p>

文化芸術課課長 補佐	<p>は、こういった形でまた定める形になりますか。</p> <p>29年度牛久郷土検定につきましては、昨年11月24日の校長会で市内小中学校での実施が決定しております。</p>
教育長	<p>特に要綱というのは、つくらないということによろしいわけですね。</p>
文化芸術課課長 補佐	<p>郷土検定の要綱はつくっております。小学校、中学校それぞれにつくっております。小学校編は市内の小学校4年生を対象に、中学校編では2年生を対象にということでございます。</p>
後藤委員	<p>牛久郷土検定を立ち上げるに際して、教育委員会の意見を聞くタイミングはなかったのでしょうか。牛久郷土検定が必要かどうかということを決める前に教育委員会としてこういう検定があったらどうか、どう考えるかという投げかけがあってもよかったのかなと、少し思いました。学習指導要領が今度新しくなると、小中学校の現場はすごく忙しくなります。郷土を知るということはとても大切なことだと思いますが、これを検定化すると、やはり小中学校の現場の先生方にとっては負担が大きくなると思います。郷土検定が不要だということではなく、教育委員会での議論というものもまたどんなふうになるかというのを、問うていただいてもよかったかなと少し思いました。今後、教育委員会での意見なども聞いていただけるとありがたいというふうに思いました。</p>
杉本次長	<p>後藤先生のおっしゃるとおり、その辺のところにつきましては本来であれば学校のほうにいろいろな部分で影響もございますので、そういう部分については今後しっかりと事前に教育委員さんのご意見も伺いながら、そして進めていきたいと思っております。</p>
教育長	<p>そういった意味では、郷土検定の要綱が完成したのを教育委員会に上程するというのではなくて、こういうふうに進んでいるというのを教育委員会に報告して委員さんの意見を求めるというのも一つかと思っておりますので、それを諮っていただければきっとまた委員さんの意見も入って教育委員会の方向性が形として出るのではないかと思いますのでご検討よろしく申し上げます。</p>

杉本次長	わかりました。
五十嵐委員	<p>ただ郷土検定でそこだけでとどまるのではなく、今生涯学習課の事業として郷土かるたとか、こどもかるたという部分があるので、そこにそういう既存のものに少しでも繋げていけるようなとか、あとはその中のものを、内容、読み札とか何かというところも参考にしながらやるという方法もあるのかなとは思いますが、それと今日、学校訪問をしてきて非常に学校の先生方が忙しいということで、この郷土検定に向けてまた学校では多分先生方がそれなりに時間を割いて対応すると思うんです。そうなった段階でまた時間を割くのではなく、それは希望者、例えば中学2年生の子が全員という形だとは思いますが、希望者だけに関してでもその生涯学習課のその事業の中で講座みたいな形で開いてあげれば、学校側の負担も少なくなるのかなという気はしました。</p>
芦田委員	<p>そうですね。今伺っていても9回芋銭検定を実施された実績というのがあるわけで、受けられた方たちというのはそれなりに思いがあったと思うのですが、ここでぶつんと途切れてしまうのはどうかかなとも思うので、そういう方たちが何か、それこそ地域の子供たちを巻き込んでとか、いろんな形で土曜カップ塾ですとか、そういう形でもいいですから何かこう、ここから先も細く長く繋がっていけるようなものがあればいいかなと思います。</p>
文化芸術課課長 補佐	<p>新聞のほうにも出ていたのですが、全国的にも既にご当地検定ブームというのが去っているというようなものがありまして、2014年7月3日付の日本経済新聞なんですけど、全国検定振興機構の調査によると、検定数は同機構が発足した2009年の135から2013年には半数近くの77に減少いたしました。5年間では62が廃止となった。それで、新規開始は4つにとどまったというような記事が載っております。小川芋銭検定に限らず全国的に減少しているんだなという記事が載っておりました。ですからということではないんですが、全国的にそういうブームがもう去ってしまったということだと思います。このいばらきっ子郷土検定というのは継続してやるわけなんですけど、それは11月にあるのですが、その前に今後牛久郷土検定を小学校、中学校とやらせていただいて、その中でそういう小川芋銭についてもそうですけれども、問題の中に含めまして今後も子供たちにはそういう形で指導していくような、指導といいますか教えていくような形にはしていこうと思っております。</p>
教育長	今、検定ブームが去った中でこれをつくっていくということになって、子ど

	<p>もたちへ指導をしていきたいと思うというお話もあったのですが、指導するのが現場の先生になってしまうということです。そこで、現場の先生方の負担がまた増えてしまうのではないかとというのが委員さんのご意見だと思うのです。ですから、過大な競争になって1級だ2級だといって目指すような形になって、現場の先生方がまた負担にならないような形でうまく運営できればなど思っておりますので、何かうまく郷土が知ればなど、昨日、郷土かるた大会を子供たちがやったと思うのですが、そういった五十嵐委員おっしゃるようにうまくそうになっていくとまたいいのかなという気がします。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>ひたち野うしく小の土曜カップ塾も、最初の年に郷土かるたのクラスを設けていたのですが、すごく好評で子供たちは楽しんでいました。ただ、毎回毎回同じかるたをやるだけではなく、もっとそこから広がっていけばいいなという希望はあったのですけれども、それで終わってしまいました。であればそういう機会をどんどん増やして、そういう形ででも良いのかなとは思っています。いばらきっ子郷土検定については、それは中学生が確かに、うちの子供なども受けていまして、やっぱりそれも授業時間を割いてやっているような形なので、やはり現場としては大変になると思います。</p>
<p>石井職務代理者</p>	<p>とにかく頑張っけて検定を受けて、ある程度合格された方にとってはその先どうするんだというところが残っていると思うので、ここは小川芋銭研究センター一等が所管するなりして、指導者ではないですけれども、そういった形で活動させてあげたほうがむしろ検定も生きるのかなと思います。小川芋銭については評価が高いのはもう論を待たないので、そこをうまく活用できればなど思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>杉本次長</p>	<p>この新しい郷土検定の目的ですが、当然郷土にある偉人ですとか文化ですとか、そういうものを子供のうちにしっかり覚えていただいて、そして郷土愛なり文化を継承していく心なり、そういうところをやはり最終的には目標にしていきたいと思っています。ですから、小川芋銭だけにとらわれず、当然木村安兵衛もいますし、あと橋のない川の住井すゑ先生もいらっしゃいますし、いろいろな部分で牛久市のそういう文化、偉人を、広く子供さんたちに覚えていただきたい。そして、郷土を愛する心を持っていただくというようなところをやっぱり目的にしているということで、発展的に単なる小川芋銭だけではなくていろんなものを入れた形で郷土検定という形にしていきたいという、そういう思いがあったものですから、そういう形で進めていきたいというふうに思っております。また、当然やるに当たりましては、もう一度校長会なり、あと現場の先</p>

<p>後藤委員</p>	<p>生なり、いろんな部分で運営の方法等についてはしっかりとお話をさせていただいて、なるべくその学校の先生方にも余りご負担にならないような形でやれる形を考えていきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>今のお話はとてもよく分かるし理解できるんです。ただ、教育の方法論の進化というのは、例えば今おっしゃったような目的なのであれば、稀勢の里がなぜ強くなってあそこまで上り詰めたかということを総合的な学習の時間に全員でそれぞれが調査して、プレゼンテーションまで持っていくという一つの授業でも郷土愛にまで結びつけることは可能だと思うんです。それで、検定というのはどうしてもお勉強になってしまうので、何点取れたかということが第一義的に上がってしまう、どちらかという古い教育方法論の形であるということをお否定できないんだと思うんですね。それで検定というのがよくないと言っているわけではなくて、郷土愛を育む最も有効な手段というのを議論で決めていくというプロセスが欲しかったというふうに少し感じます。</p>
<p>教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。そういったことも含めながら学校とよく協議していただけるとよろしいかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、議案第5号「牛久市小川芋銭検定委員会設置要綱を廃止する訓令について」及び議案第6号「牛久市小川芋銭検定実施要綱を廃止する告示について」、賛成の委員は挙手をお願いいたします。</p> <p>議案第5号及び議案第6号について出席者全員の賛成を得る。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、報告第1号「牛久市教育支援委員会答申について」であります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したとき、これを公開しないことができます。</p> <p>本議案について非公開の賛否を諮る。</p> <p>全員賛成のため非公開に決定。</p> <p>(非公開)</p>



教育長	<p>以上で非公開を解除いたします。</p> <p>予定価格100万円以上の教育財産の取得についての報告 教育総務課</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成28年度小中学校音楽教材備品購入 小中学校で使用する楽器などの音楽備品の購入 契約額 小学校 848,573円 中学校 2,066,347円 合計 2,914,920円</li> <li>2. 平成28年度小中学校理科教材等購入 小中学校で使用する理科・算数（数学）備品の購入 契約額 小学校 2,322,692円 中学校 1,387,108円 合計 3,709,800円</li> <li>3. 平成28年度幼稚園・小中学校体育用品等購入 幼稚園、小中学校で使用する体育用品の購入 契約額 幼稚園 20,990円 小学校 449,132円 中学校 815,294円 合計 1,285,416円</li> </ol> <p>予定価格130万円以上の工事計画についての報告 スポーツ推進課</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成28年度牛久運動公園野球場ラバータイル設置工事 牛久運動公園野球場のダッグアウト及び素振り室の床面保護のため ラバータイルを敷き詰める工事 概算設計額 1,616,000円</li> </ol> <p>それでは、以上で本日の議事は終了いたしました。</p>
教育長	<p>続いて各課からの報告がありましたらお願いします。 まず、飯野次長の方からお願いします。</p>
飯野次長	<p>私の方からは、12月の議会が終わりまして年が明けましてもう1月20日過ぎということになるんですけれども、3月の議会に向けて市役所の内部でも先週金曜日に補正予算の要求締め切り等の3月議会に向けた作業が進められております。ほとんどの事業が決算を見込んでの余剰金の減額補正が中心になると思いますけれども、3月議会にまたそういった補正予算の審議ということになります。あわせて来年度29年度の予算もほぼ固まったというところで、年</p>

内の12月26日の編成会議、28日の編成会議、今月の17日の編成会議と3回終えまして、一般会計が255億7,000万円という内示前に編成会議のほうで示されたところであります。今年度の、28年度の当初予算が254億円ですので、約1億7,000万円ほど微増というところで一般会計は進んでいくかなというところです。市全体で見ますと、福祉部の障害者介護給付費あるいは障害児のデイサービス関係が事業所の増、あるいはサービスの充実等で大分大きな伸びがあります。また、環境部でのクリーンセンターの長寿化、こういったものもシステム改修で5億円ぐらいの予算がまた使うというところで、あるいは年内にも示されたイズミヤの撤退に伴った、年明け賀詞交歓会でも市長のほうから示されましたイズミヤの撤退に伴っての市で賃借してまた購入に動いていくというところで、1億1,000万円ほどの予算が計上されております。そういったものを踏まえて教育委員会については、中学校建設に向けた建物の解体あるいは造成実施設計等の予算、また中央生涯学習センターでの空調の改修、あるいは武道館建設に向けた抜根伐採の経費、そういったものを踏まえて大分事業費のほうも伸びております。34億5,000万円という教育費の予算にもなっております。今年度が33億5,000円でしたので、約1億円教育費のほうも伸びている、増加しているという状況にあります。

12月の補正で議会の方でも議決いただいた下根中のトイレ改修、あるいは一中の体育館の改築、南中の大規模改造等入れますと、2カ年を見ますと大分教育委員会でも大きな投資事業が今後進行していくというところで、財政のほうも市債、借金を有効に活用しながらその事業を推進していくというところになります。

一方で、教育委員会で強く予算要求しました教育振興基本計画、あるいはICTの関連経費、そして岡田小のプール改修ですとか、第一幼稚園の旧園舎の解体等は厳しい査定にありまして予算が認められなかったというところもあります。ぜひともさまざまな事業を推進しながら来年度、次の機会を見て予算の獲得に動いていきたいなというところであります。

以上、来年度の予算と補正について報告をさせていただきました。

文化芸術課	「うしくのひなまつり」について 「ノノキスのコンサート」について
生涯学習推進室	「牛久郷土かるた大会」について 「平和の集い」について
指導課	「かっぱ大交流会」について 「教育の集い」について
教育総務課	「牛久市第三次総合計画 後期基本計画」について 「新設中学校の現在の作業状況」について
中央図書館	「図書館を利用した不登校児童の居場所づくり」について

「空調設備改修工事の竣工検査」について

以上で1月定例会を終了いたします。

次回の定例会は、2月20日月曜日、市役所本庁舎第3会議室、13時30分からの開催となります。よろしくお願いいたします。